

水先花澤渡船場 川辺自然公園を整備する会



「渡 船場としてにぎわいがあつたこの川辺で、子どもたちが遊ぶ姿を見たい」

NPO『水先花澤渡船場川辺自然公園を整備する会』の活動は、地域住民のその思いから始まります。

幕末に始まったと記録が残され、江刺区稲瀬水先と金ヶ崎町三ヶ尻の花沢を結び、人や馬、荷物を運搬した「水先の渡し」。昭和30年代後半から旧江刺市直営で運行されるなど、江崎大橋が開通する57年以前は、住民にとって貴重な交通手段でした。思い出深い川辺を、子どもたちの学習の場として残したいと考えた稲瀬振興協議会は、平成13年2月に渡船場の環境保全を旧江刺市に要望し、翌14年6月に水先集落住民を中心と

してNPOを立ち上げました。現在の会員数は56人。稚ガニの放流や水生生物と水質の調査、サケの自然産卵見学会、川辺の清掃活動の事業を毎年行っています。

稚ガニの放流は、北上川沿いの3つのNPOと協力して同日に実施。一関市川崎町から仕入れた稚ガニ約250匹を放流しました。水生生物と水質の調査では、国土交通省の職員などを講師に招き、江刺区稲瀬小学校と北上市照岡小学校の児童が生き物観察を行い、環境保全の大切さを学んでいます。

そして、会の中心的活動であるサケの自然産卵見学会では、例年サケが遡上する10月20日から11月5日まで、川辺に見学台を設置しています。

浅瀬を埋め尽くす何百匹ものサケが、バシバシと水しぶきをあげて産卵する様子は、見る人を圧倒し命の神秘性や尊さを感じさせてくれます。会員は年々高齢化が進み、人手が不足していますが、ほかの団体と連携して事業を継続。年に3回行う川原の清掃活動では、地元業者の協力を得るなど、活動の輪を広げて頑張っています。



ことし10月17日に行った川辺の清掃活動に参加した会員の皆さん

interview



水先花澤渡船場川辺自然公園を整備する会 会長

及川 典雄 さん (79)

戦後に荒廃した川に、美しい環境を取り戻そうと稲瀬振興協議会でまず活動を始めました。子どもたちが自然によって鍛えられる、そんな学習の場を残していきたいと活動を続けています。遊びを楽しむ中で学習意欲がわき、深く学ぶきっかけになるようです。子どもたちの質問は鋭いので、お互いに勉強して教え合おうと約束しています。



イベント参加者（会員）
稲瀬字水先

及川 由美子 さん (61)

小学生の孫たちが、サケの産卵見学会に毎年参加しています。卵を産むために、ボロボロに体を傷付けながらも浅瀬を力強く泳ぐサケを見て「かわいそうだけれど、すごい」と感動したようです。サケが元気に帰ってくるのも、会の活動のおかげですね。学校と連携しているので、友達と一緒に地域の人たちと触れ合えることも良いと思います。



NPO 伝言板

市内のNPO活動をお知らせします。情報の掲載を希望する場合は、市民活動支援センター（☎④ 4200）までお問い合わせください。

●自分力をアップするコーチング講座

日時：①12月5日②12月19日
午後1時～4時（全2回）

場所：市民活動支援センター

内容：自分力をアップし、よりよい人間関係を築くためのコーチング講座（講師：PHP認定上級ビジネスコーチ平野順子氏）

実施団体：NPO法人奥州・いわてNPOネット

●多重債務についての相談会

日時：毎週金 午後6時半～8時半

場所：市民活動支援センター

内容：多重債務についての無料相談会（予約不要）。直接会場にお越しください。

【多重債務相談専用ダイヤル】

☎ 080-2808-4060（浅田）

毎週金⑤⑥ 午前9時～午後9時

実施団体：みちのく道場

●手話の勉強交流会

日時：毎週金 午前10時～正午

場所：市民活動支援センター

内容：会員による勉強交流会。手話に興味のある方の参加を歓迎します。

実施団体：手話サークルZ

※上記事業の問い合わせは、すべて市民活動支援センター（☎④ 4200）まで